

7 インターネットへの接続

パソコンでインターネットを使うためには工事費や通信費などの接続環境を知っておかなければなりません。

自宅から通う学生は

高速インターネット回線への接続が一般的です

- 今やパソコンを単独で使うよりもインターネットに接続して利用するケースのほうが多いでしょう。皆さんが自宅でパソコンを使う場合も同様です。大学生活では自宅にインターネットが接続されていることは必須ではありませんが、明らかに学修に有利である場合が多く、今後ますますその傾向は強まるでしょう。
- 皆さんが家族と一緒に自宅から大学に通学しているのであれば、冒頭に述べたように多くの家庭がすでにADSLやCATV、光ファイバーなどのブロードバンドに接続していますので、皆さんの家庭でもすでにインターネットへの接続環境は整っていると思います。
- もし、そうでないのであれば、家族と相談してこの機会にそうしたブロードバンドへの接続を検討するとよいでしょう。もちろん毎月ある程度の金額がかかりますので、家庭の経済状態とバランスを取る必要があります。もし経済的な余裕がない場合は、必要以上に高速で高額な契約をする必要はありません。一般的な大学生活で使う用途では回線速度、12Mbps以上であれば十分でしょう。また、光ファイバーもテレビ回線や電話回線と一体になって総合的に割安になりつつありますし、通信速度も200Mbps以上あるのが一般的ですので家族で検討してみるとよいでしょう。

アパートや下宿等でひとり暮らしの学生は

スマートフォンのテザリングや、ポケットWi-Fiで

- では、皆さんが下宿やアパート、学生寮などで生活している場合はどうでしょう？もしそのアパートや下宿、寮がインターネット接続の契約をしている場合は、そのサービスを利用すればよいでしょう。
- 自分で契約するのであれば、光回線やCATVは月額利用料が高価ですし初期工事費も必要です。また、導入工事をするためには大家さんの許可も必要ですし、そのアパートを4年間使うかわからない状況で工事費に投資するのはあまり現実的ではないでしょう。
- 学外でパソコンでインターネットを使う場合は、とりあえずはスマートフォンのテザリング機能を使い、通信料が多いようであれば、現時点で費用を考えるとWiMAXやY!mobileなどのポケットWi-Fiの利用を考えるのが現実的です。最近はこちらのモバイルデータ通信の契約で安価にスマートフォンが使えるサービスがあります。

大学の無線 LAN 環境を使うことも

すべての授業教室や図書館、 食堂などで無線 LAN を利用できます

- 個人でインターネットを接続するには、それなりの出費を覚悟しなければなりません。もし経済的に厳しい状況であれば、最後の選択肢としてはなるべく大学のキャンパス内でパソコンを利用することです。本学ではパソコン演習室だけでなく、ほとんどすべての教室や図書館、食堂などで無線 LAN を利用することができます。
- ただし、日曜日は安全のために多くの校舎は中に入れない場合が多く、土曜日は特定の校舎や図書館だけが開放されています。夏休みや春休み等の長期休暇中も利用できる教室が限られますので、そのことを念頭に入れておかなければなりません。なお、この学内無線 LAN を利用できるのは、本学の学生に限られることは言うまでもありません。